

1/1 祝

米、中連に「離島部隊」

支中國、海軍隊改編へ

バイオ、米政権は沖縄東シナ海での海上活動を数年以内に終結し、離島防衛=★
ZEWの実績=に備えて、日本外務・防衛相
昭和26年1月26日、
M-LR(MLR)が開設され、
に開く支中國海軍隊改編会議

方針を固めた。南シナ海や

東シナ海で海上進出を強め

る中国への抑止力を高める

狙い。日本外務・防衛相

当該係がつぶんとて、日本
に開く支中國海軍隊改編会議

(2アーバン)で確認する

見通しだ。日米関係筋が10
日までに語り合った。

【4面】
[4面] [4面]

約第5条の適用対象とする
方向で調整に入った。2アーバン
ラスの共同文書に盛り込
む者である。

務を定めた日米安全保障条
約第5条の適用対象とする
方向で調整に入った。2アーバン
ラスの共同文書に盛り込
む者である。

沖縄では、MLR部隊が
新たな基地負担につながる
として反発が強まる可能性
がある。MLRが沖縄に配
備されても、約1万人の海
軍兵士が、

沖縄では昨年3月、ハフ

イの部隊を改編し、MLR
創設を発表。今後、沖縄に
駐留する1つの海軍連隊を
MLRに改編した上で、一
つの注連=「」をタグと
に置く方向で調整してい
る。

MLRの部隊規模は1,000

00人程度で、小規

模のチームに分かれ、敵の

ミサイル攻撃をかわしながら、離島に機動的に展開す

る能力が特徴。敵の射程圏

内における複数の離島での操

動点を確保し、味方の艦艇

を支援する作戦を実行す

れども、支那は外移新
計画に参画はないといわれ
る。

日本政府も沿岸の防護

第15旅団を留団で格上げ

して、離島の防衛

や離島の防衛

も強化する方針。日米共同で対処力を強

化させよう。

一方で、米海軍の改編

の記者会見で、米海軍の

松野博一准将は、

「日米同盟の扭上が、対処

力を一層強化するため、戦

略、体制および共同訓練

といった幅広い分野での協力

について、頻密に意見交換

している」と語った。

